



日曜日になるとやっと家族が揃うよ。お父さんは以前はスカベンジャーで今はガードマンやいろんな仕事をしている。お母さんは「先生」になるため働きながら勉強しているんだ。みんなが揃うと僕もペットも大喜びなんだ!



僕はサイミッチ・アラノ(9歳)
小学校3年生です。お父さんもお母さんも遠くで働いているので、なんでも自分でできるようになったよ。ヘアスタイルもちゃんと決めて、学校に行く準備はバッチリだよ。



シャワーだって4歳の時からひとりで入れるんだ。お母さんは、僕がひとりっ子なので、不便ないように小さい時からいろいろ教えてくれたんだ。自分が食事した後のお皿だってちゃんと洗うよ。



おうちのことや勉強が一段落したらやっと遊びの時間だよ。僕の大好きなペット、ネコのレオとレア。「遊んで遊んで」っていつもからんで来るのが可愛いんだ。僕の言うことがちゃんと解る賢いペットだよ。



お父さんとお母さんが仕事で帰って来られない時は、近所のいとこのお姉ちゃんが家に来てくれるんだ。一緒に勉強してくれて、僕が苦手な英語を優しく教えてくれる大好きなお姉ちゃんなんだ。

学校で勉強したい!という 子どもたちの願いを叶えよう!

※物価上昇のため
2,000円値上げ
しています。
ご理解のほど
よろしくお願
いいたします。



支援の種類や金額をお選びください。

送金方法により手続きが異なります。

ご寄附の確定申告の為に領収書が発行できます。

TIUシアター 芸術教育支援

も募集しています。

子ども学資支援プログラム

子ども学資支援



20,000円/1年分

学校に通うのに必要な1年間
※20,000円を支援します。

大学生学資支援



1口・20,000円
大学は1年間20万円必要で、
※1口・20,000円を募り支援します。

学校支援

※昨年度は、計144万円を支援。

パヤタス



スモーキーマウンテン



ゴミ山近くの2つの学校を1口・10,000円で支援します。
学生が支援する場合は1口・2,000円より可能です。

1. 銀行振り込み

ATMやネットバンキングから

注意 振込み手続きをする前に、必ず右記フォームに入力し、
ご連絡ください。(照合のため)

ゆうちょ銀行

店名:一九一

当座 0670944

名義: 幸せの種まき献金

三菱UFJ銀行

店名:原宿支店

普通 1046088

名義: 公益財団法人修養団



銀行振り込み
フォーム

2. クレジットカード決済

「SYD寄附・献金サイト」から



3. 郵便局で振り込み

備え付けの振替用紙またはATMから

●口座番号: 00140-6-0670944

名 義: 幸せの種まき献金

支援者の方には、この「SYD子ども学資支援プログラム報告書」(年に一度発行)等で現地の様子をお知らせしています。

詳しくは、SYD「子ども学資支援」係 (✉info@syd.or.jp) または、SYDまで。

20年目は、フィリピンの

35人の子どもたちと5人の大学生に、学資支援ができました。



忘れないでいてくれて
ありがとう!



瓜生氏が運営する学校「パンガラップ」の子どもたち。
パンガラップは日本語で「夢」という意味です。

SYD*では2004年から、貧しいため学校へ通うことができない、フィリピンのスカベンジャー(ゴミ拾いで生計を立てている人々)の子どもたちへの学資支援を現地法人CIF(クリエイティブ・イメージ・ファンデーション、代表:瓜生敏彦氏)と協力しあっています。

2007年度からは、大学に進学するスカベンジャーの青年たちへの学資支援も始めました。支援者の皆さまのおかげで、2023年度は35人の子どもたちと、5人の大学生に学資支援ができました。

新型コロナウイルスのパンデミックの影響により、子どもたちの多くの親は職を失ったり、わずかな収入をさらにカットされたり、あるいは急激な物価上昇による更なる生活苦から子どもを学校に通わせることを諦める家庭も出ています。現地の状況は未だ厳しい環境にあり、引き続き皆様の支えが必要です。一層のご協力・ご支援を心よりお願い申し上げます。

* SYD(公益財団法人修養団)は、
1906年に創立された
社会教育団体です。



(支援者名敬称略)



ジェラルディン ジュエル
P.ペラルタ (9歳)

今年は2回もSYD
の人たちが泊まってくれて
嬉しかったです。私の支援者
にもやっと会えたことは一生の
想い出になりました。もっと
勉強します!

支援者: 中島郁雄 (新潟県)



サイミッチ,V.アラノ
(9歳)

僕の家に日本のお
兄ちゃんたちが泊まってくれ
た時は最初すごく緊張した
よ。でもすぐ仲良くなって、帰
ってしまう時はとても悲しかった。
また来てね!

支援者: 匿名 (千葉県)



2018 支援者がホームステイに来た際。



2024 今は、幼い子の面倒見が良いお兄さんです。



僕の支援者は僕が小学生の時に会いに来てくれました。長い間支えてくれているので、支援して良かった!と思つてももらえるよう、勉強はもちろん心も磨いていきます!



パンデミックで学校に通えなかった時期は将来が見えなくて落ち込みました。今はお医者さんになる夢もできて前向きに勉強を頑張っています。



私のお父さんは心臓の病気が見つかりスカベンジャーをやめました。生活は大変だけど家族みんながささやかな日常に感謝しています。



SYDのスカラーに選ばれた時、私の両親は大喜びでした。一生懸命勉強するのでこの支援がなくならないようにっていつも神様にお願いしています。



SYDのスカラーになって日本人の友だちがいっぱいできて嬉しいよ。今度は僕の方が日本に行って、友だちや支援者にまた会いたいな。いつも励ましてくれてありがとうございます!



僕は3人兄弟の真ん中で弟はまだ3歳です。なんでも僕のマネをするのでお手本になれるよう頑張ってるよ。将来はポリスマンになりたいな。



僕はボクシングに夢中です。毎日、シャドーボクシングしてるよ。でも人を助けることも大好きなのでボリスマンかボクサーになるかどうか迷ってるんだ。



パンデミックの時、お父さんは失業し親友は田舎に行ってしまい落ち込みました。今はSYDのイベントが復活したので友だちも増えて楽しいです。



私のことを支えてくれている支援者にいつか会えたらいいな。他の友だちが支援者と写真を撮っているのがすごくうらやましかった。会える日を楽しみにしています。



今年も日本のお姉さんたちがホームステイしてくれたし、私の支援者にも会えました。みんなとても優しくて、おもしろくてずっとここに居たらいいのになと思いました。



今年も日本のお姉さんたちがホームステイしてくれたし、私の支援者にも会えました。みんなとても優しくて、おもしろくてずっとここに居たらいいのになと思いました。



私はダンスが大好きです。今年は日本から私のスポンサーが会いに来てくれたので、びっくりしたし、恥ずかしかったけどとても嬉しかったです。



僕のお父さんはスカベンジャーをして4人の子どもを育てているんだ。将来は弁護士になって両親を楽にしてあげるのが僕の夢なんだよ。そのため勉強を頑張ります。





**ドゥソン, ベニス
アンジェリカ (17歳)**

最近は「教師」になりたいっていう夢がきました。大学に進学するのは経済的に厳しいけど、勉強の合間にアルバイトをして少しづつお金を貯めています。

支援者: 中島康孝 (石川県)

**ニック・G, エスコンダ
・ジュニア (10歳)**

僕のお父さんとお母さんは遠い島からパヤタスに来ました。ずっと前にその島に行った時、初めて船に乗って、すごく感動したけど気持ち悪くなったんだ。

支援者: 仲宗根ファミリー (沖縄県)

**エンジェル, アドセラ
(9歳)**

SYDのスカラーに選ばれた時、ジャンプするくらい嬉しかったです。天国のお母さんがなりたかった先生に私もなりたいです!

支援者: 高木ファミリー (滋賀県)

**ダニエラ, M
サロンガ (13歳)**

私がいちばんハッピーな時は、家族そろって外に出かける時です。贅沢はできないけど一緒に公園に行くだけで幸せだと感じます。

支援者: 江種ファミリー (広島県)

**ハミラン, バーガス
(15歳)**

将来はエンジニアになりたいから勉強を頑張っています。僕が頑張るのは家族みんなと日本の支援者が応援してくれるからなんだ。いつか僕のことを誇りに想ってほしいよ。

支援者: 増田ファミリー (千葉県)

**マーク, フローレス
(9歳)**

大切なペット(犬)が死んじゅった時は思い出すたびに泣いていたんだ。でもSYDのスカラーになった時、やっと笑顔になれたよ。勉強をもっと頑張ろうって思ったよ。

支援者: 大崎ファミリー (東京都)

**プリンス・ジェリー
マリネオ (11歳)**

SYDとマニラ動物園＆スター・シティに行ったことがいちばんの思い出です。来年はお父さんに新しい仕事が見つかりますように!

支援者: 鈴木優子 (東京都)

**ジェファーソン
ティアノ (11歳)**

僕は将来ホワイトカラービジネスマンになりたいです。苦労して僕ら兄弟を育ててくれている両親に大きな家をプレゼントするのが夢です。

支援者: 渡邊直美 (福島県)

**プリンセス, ジリーン
V.リベラ (8歳)**

お父さんの誕生日の時、初めて海で泳ぎました。怖くて泣いてしまったけど、家族はみんな大笑いしていましたのであとで私も笑ってしました。

支援者: With YK (神奈川県)

**ケネス, キーアン,
ダドウロ (12歳)**

日本から支援者が会いに来てくれて嬉しかったです。またいつか会いに来てね。将来は大きな夢だけど建築家になりたいです。

支援者: 志村ファミリー (東京都)

**プリンセス, ジャネス,
フリパス (12歳)**

家族みんなが揃ってシンプルだけど一緒に食事をするだけで幸せな気持ちになります。みんなが長く一緒にいられるクリスマスが大好きです。

支援者: 有島剛 (沖縄県)

**サリナス, ソフィア
マリー S. (16歳)**

パンデミックの時、勉強する習慣が途絶えてしまったこともあったけど、今は勉強が楽しいです。会計士になりたいという夢もできました!

支援者: 岡地宏 (茨城県)

**プリンス, ゼウス,
クンボ (9歳)**

僕の家が火事で何ひとつ残らなかった時はすごく悲しかったよ。でも家族が無事だったから神様にありがとうございました。

支援者: 小林頴子 (長野県)

**キング ディラン, D
ペピーノ (12歳)**

2年振りに新しい靴を買ってもらった時、すごく嬉しかったんだ。前はきつくて、今は大きすぎてすぐ脱げちゃうけど、とってもカッコイイし、大切にしているよ。

支援者: 新井秀夫・幸子 (埼玉県)





フィリピンの35人の子どもたちに学資支援ができました。

バクサル、ジャン
アリソン M. (16歳)

大学に行って看護師になるのが私の夢です。私が小さいときから支えてくれた支援者にもいつか直接会ってお話を伝えたいです。

支援者: 小川昭廣 (北海道)

パルミアノ、ライカ M.
(14歳)

母はひとりで私たち兄弟姉妹を育ってくれたので頑張って良かった、と想ってもらえるよう、勉強に集中しています。たくさん的人に恩返しがしたいです。

支援者: 露口 幸世 (愛媛県)

ケイ E. ブロス (11歳)



私はいつかCAさんになりたいです。飛行機には乗ったことはないけど、以前TVで観たCAさんがとてもすてきですぐに私の憧れになりました。

支援者: 岡地 宏 (茨城県)

ジョン、エース ベネロ
(9歳)

今年いちばん悲しかったのは算数のテストが悪かったこと。いちばん楽しかったことはSYDと行ったスターシティーで乗り物に乗ったことだよ。

支援者: 匿名 (神奈川県)

デジー アルデン
ネソルタード (9歳)

将来、弁護士になりたいので、人の何倍も勉強を頑張っています。家族はもちろんたくさんの人を助けられる人になって支援者にも私のことを誇りに思ってほしいです。

支援者: 直井晋一郎 (広島県)



2023年度

5人の大学生たち

ラモス、ジョン レニュエル M. (19歳)



小学生の時から僕を支援してくれてどうう大学生になりました。大学の勉強は難しくて大変だけいつか必ず会計士になって支えてくれた皆さんに恩返しがしたいです。

支援者: 久保田紀子 (群馬県) 伊藤綾香 (富山県) 岡地 宏 (茨城県)

パブラドール、エイプリル ジョン P. (26歳)



SYDや僕の支援者には、どんな言葉も充分ではないくらい感謝しています。〈出会い〉で人生が劇的に変わった僕は、必ず会計士になって貧しい子どもたちをサポートしていきます。

支援者: 古城門ファミリー (広島県) 匿名 (神奈川県)

ペラレス、ロビー ジェイムズ (21歳)



僕は中1の時にSYDの招待で日本を訪問してから、勉強する意味を見つけました。もうすぐ長年支えてくれた支援者と同じ「教師」の道を歩みます。支援者の皆さん、SYDのみんな本当にありがとうございます!

支援者: 出口ファミリー (和歌山県) With YK (神奈川県) SYD役員有志

ニック ガーレン T. サラビア (19歳)



正直なところ生活が苦しくて大学を諦めかけたこともあります。そんな時もずっと支援してくれた方を思い、諦めませんでした。いつか必ずシェフになります!

支援者: 安倍昌代 (福岡県) 匿名 (神奈川県)

ブリオネス、アリッサ ロリー (20歳)



今年は支援者のひとりがご夫婦で会いに来てくれる大きなサプライズがありました!グラフィックデザイナーになるという夢へのモチベーションがまた上がってきたました。

支援者: 藤本晴香 (東京都)・植田絵理 (兵庫県)

中田ファミリー (東京都) 山口博幸 (岡山县)

エー・ジーのパヤタス・レポート★

《マリーの夢》

大学の最終講義が夜7時に終わって、ちょうど帰宅ラッシュに当たると家に着くのが10時を回ることもある。そんな時間に夜道を歩くのは大人の男性だってイヤなもので、特に「ビビリ」の僕は灯りが点いている家の近くまで全速力で走って帰ることもあるんだ。

僕の家の前の通りは、最近街灯が点いて明るくなった。数年前から要請していた希望がやっと叶い、設置された初日には、通りの家々の人たちが出てきてちょっとしたお祭り騒ぎだったよ。自分の家より、この通りの方が明るいっていう家庭がほとんどなんだ。

先日も息を切らして明るい通りにたどり着いた時、ギョッと一瞬固った。近所のマリーが、その灯りの下で勉強していたからなんだ。

「マリー、いくらなんどってこんな時間に外で勉強しちゃ危ないよ!」4人兄弟の長女のマリー(10歳)は学校から帰ると、家の手伝いと小さな弟・妹たちの世話で、ゆっくり勉強する時間がない。スカベンジャーの父親は朝が早いし、電気代を節約するために夕食後7時を過ぎるとすべての電気を消すという。「私が勉強できる時間には、もうこの灯りしかないの」とマリーは苦笑いした。

以前、勉強を教えて欲しいとマリーに声を掛けられたことがある。数学が大好きで、将来は建築家になりたいと言っていた。のみ込みが早くびっくりしたけど、何よりもその集中力に驚いたんだ。聞けば62人のクラスで1番の成績だという。しかしマリーは夢を叶えようとは思つ

ていなかった。「私の夢はどうだっていいの。でも弟や妹たちには大学で勉強して欲しいし(お姉ちゃんはクラスで1番だった)って覚えて欲しいの」と笑った。

10歳で自分の夢を諦めるなんて、あまりにも悲しすぎるよ。母にそのことを話したら、母が勤める(パンガラップ)に通っていた時からマリーは何をやらせても並外れた集中力を見せていました。しかし、マリーの母親は、娘が褒められてもそこに価値を見出すことも喜ぶ様子もなかった。マリーは家庭で褒められることのない子だと気づいた母は、(パンガラップ)にいる間だけでも、みんなの前でマリーをことさら褒めてあげたという。

僕の母は昔から厳しい人だったから、とても怖かつたし、よく叱られました。だけど褒める時は、それこそ(自分は世界一ラッキーな子ども)なんじゃないかと勘違いしてくれるくらい、褒めちぎってくれた。僕が誰かの欠点ではなく、長所により目を向かれるようになったのは、間違いなく母のお陰なんだ。僕はまだ学生だけど、ひとりの大人として誰かの夢を叶える側でありたいよ。



ほのかな灯りの下で一心不乱に本を読むマリーの集中力。僕が近づいてカメラを向けても顔を上げようとはしなかった!

“AJのパヤタス・レポート”は、SYDの機関誌・月刊「向上」にて好評連載中!!

上の記事は、2024年5月号から抜粋。